公 式 記 録

(一社)兵庫県サッカー協会
兵庫県高体連サッカー部

令和5年度兵庫県高等学校サッカー新人大会　　準決勝 【 53 】

主審署名：北條　結羽

日 時	2024 年 2 月 3 日（土） 11 ： 00 キックオフ			会 場	アスパ五色メイン		
天 候	晴れ	強風	天然芝・人工芝・クレー	状 態	良好	試合形式	70 分 ／ 延長 分 ／ PK戦 有
運営責任者	笠原　弘樹	会場主任	石塚　俊一	記 録	芝切　淳 ／ 平野　敦士	観 衆	220 人
主 審	北條　結羽	副審1	川崎　秋仁	副審2	大本　剛志	第4の審判員	髙橋　謙介

チーム名	滝川第二高校		三田学園高校	チーム名
1（5）	前半 0－1	1（4）		kick off
	後半 1－0			
	延前			
	延後			
	PK戦 5－4			

選手番号	99	17	18	7	13	34	90
	○	○	○	○	×	○	×
PK戦	○×						

選手番号	5	7	4	10	21	11	13
	×	○	○	×	○	○	×
PK戦 先	○×						

交代 No.	交代 OUT時間	シュート 延後	シュート 延前	シュート 後半	シュート 前半	選手名	(学年)	番号	位置	位置	番号	選手名	(学年)	シュート 前半	シュート 後半	シュート 延前	シュート 延後	交代 OUT時間	交代 No.
	分					竹本　航	2年	1	GK	GK	1	神田　航汰	2年					分	
	分					酒井　悠利	2年	17	DF	DF	5	福井 奏太郎	2年					分	
	分					滝澤　呂澪	1年	81	DF	DF	4	黒瀬　直弥	2年	1				分	
	分					浜口　巧成	1年	73	DF	DF	26	康　明世	2年					分	
	分					川上　瑠已	2年	7	DF	DF	14	家本　陽生	2年					70+6 分	
	分				1	三宅 蔵ノ助	2年	18	MF	MF	6	上野　櫂	2年	1				分	
	HT 分					南　壮一郎	1年	19	MF	MF	7	小林　瞳斗	2年		1			分	
	58 分					松元　大智	2年	37	MF	MF	30	松下　澪生	1年	1				62 分	
	分			1		空久保　善	1年	99	FW	MF	11	中田　雄大	2年		1			分	
	分			2	1	村松　風亜	2年	50	FW	FW	10	姫田　琢斗	2年	2＊				分	
	分				1	鬼追　元汰	2年	90	FW	FW	18	谷垣　徹平	2年		2			55 分	
	分					多田　義博	2年	21	GK	GK	12	石川　零唯	2年					分	
	分					樋渡　航	2年	5	DF	DF	13	中野　貴順	2年					分	14
	分					黒﨑　透和	2年	46	DF	DF	15	東山　颯将	2年					分	
	分					治部　翔	2年	6	MF	DF	25	畑尾　咲登	1年					分	
19	分			2＊		横田　圭佑	2年	13	MF	MF	21	佐伯　太壱	1年					分	30
	分					八木　寛人	2年	14	MF	MF	24	小林　和暉	1年					分	
37	分					中込　凱斗	1年	34	MF	FW	9	瀬尾　涼太	2年		1			分	18
	分					田坂　彩人	1年	62	MF	FW	17	上柿　歩生	2年					分	
	分					大橋　相太	1年	30	FW	FW	20	松尾　優希	1年					分	

時間	警・退	No.	氏名	事由	合計	延後	延前	後半	前半	チーム合計	前半	後半	延前	延後	合計	時間	警・退	No.	氏名	事由
分					8			5	3	シュート	5	5			10	分				
分					7			6	1	GK	3	5			8	分				
分					2			2	0	CK	2	1			3	分				
分					15			7	8	直接FK	5	2			7	分				
分					1			1	0	間接FK	2	2			1	分				
分					0			0	0	PK	1	0			0	分				

［警告事由］ 反ス・ラフ・異議・繰返・遅延・距離・無入・無去　　［退場事由］ 不正・乱暴・つば・阻(手)・阻(他)・侮辱・警2

得点経過

時間	チーム	No.	得点者	スコア	［得点経過］ 略号例：ドリブル～・ゴロのパス→・浮き球∩・混戦×・ヘディングH・シュートS
25 分	三田	10	姫田	0 － 1	中央　5　∩　18　H　∩　10　S
70+3 分	滝川第二	13	横田	1 － 1	中央　×　13　S
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	

戦評

戦評者　所属 【 須磨友が丘／ 西脇工 】　氏名 【 山崎周／川口大 】

晴れわたった青空のもと、三田のキックオフで始まった準決勝第一試合。両チーム、1-4-4-2でスタート。立ち上がりは、風上に立った滝川第二がGK1竹本も積極的にかかわりながら、両SBが立ち位置をインサイドに取るなどしてビルドアップを試みる。それに対して三田は、4黒瀬を中心に相手FWにボールを収めさせず、10姫田と18谷垣を起点にサイドにボールを散らしながら相手ゴールを迫る。そして25分セットプレーの流れから、10姫田が見事なボレーシュートで先制点をあげる。滝川第二18三宅がコンビネーションプレーで突破し、シュートを放つも惜しくもクロスバーに直撃する。後半は、滝川第二13横田を投入し、SBの立ち位置をアウトサイドにとりSHがインサイドを取ることで、MFとFWとの距離が近くなり、FWにボールが収まり始め攻撃のリズムができる。それに対して三田は、前半同様粘り強い守備から２トップを起点に攻撃を試みる。9瀬尾を投入し前線からのプレッシャーを更に強める。滝川第二は58分に34中込が入りシステムを1-4-1-4-1に変化し攻勢を強める。そして終了間際に、後方からドリブルで相手を崩し最後は13横田が同点ゴールをあげる。そしてPK戦の末、滝川第二が劇的な勝利を収めた。一試合を通して、豊富な運動量と強度を保ち続けた三田に賛辞を贈るとともに、滝川第二の決勝での活躍を期待したい。

［備 考］